

世界文化大系

五卷

申込 殺 廿七 期切

佐野 龍 波多野 新明 正道

◆特賣規定◆

全五巻 第一巻 第二巻 第三巻 第四巻 第五巻

◆大特典◆
無代提供

大鑑開

切×二月廿七日

完成紀念短期大特賣 內容見本進呈



大正十一年春季入
ハガキ 申込 次等入 代呈

種苗代價表
東京府農業試験場
日本種苗株式會社

地方行政年鑑

英國農村社會史

司法省戶籍先例彙集

平凡之善政

新度量衡對照表

地方政務我村の過去

モリスリ
鐵骨製動力掛
ヤンマー 發動機及
碎米機 九馬力
一日米三百俵保證
山岡發動機工作所

最新刊

大阪屋號

朝顔菊

募集

肥農苗種
料具木子

京日代理店

早稻田

圖書器械材料問屋

近江屋寫真用品株式會社

アイデアルカラー

陸 橋
シングル
ダブル

大坂本町四丁目
合名 丸三組

朝鮮代理店

朝鮮職業試驗科目講義錄

本書の特色
一、朝鮮の職業試験科目について、又各種職業の試験科目について、詳しく解説する。
二、朝鮮の職業試験科目について、又各種職業の試験科目について、詳しく解説する。

種禽と種卵
種禽と種卵

高等女學講義

政治經濟科 法律科 文藝科 中學校 商業科

婦人家庭

不良児を如何に導くか

活動的或低級な興行物の弊害

三、監督不行届
不良児の指導は、家庭の責任である。然し、家庭だけでは、彼等の悪習を改めさせることが出来ぬ。此の點を、社會が監督する責任を負ふべきである。...

涙脆いのは病的

必ずしも多情多感でない
涙と泣き分けの男爵

某男爵
ハンカチと涙の物語

女子技藝の展覽會

非常な盛況
純な女達

朱塗の笛

吉留吉の助
朱塗の笛

日支官民の歡迎裡に

元帥支那に入る

造花の山や 鶴の鳴く山や
幼い令嬢達は、是れを手にして、お花を摘む。...

一時間に廿五回

疲れた骨格と血脈
鯉博士岸上教授の發見

論文
鯉博士岸上教授の發見

撲殺した犬の祟

あると嚇されて發狂
加害者房の小心者

振威の五人殺詳報

裁判所に投石した

なと、は針小棒大の誤傳
新義州前哨の暴行事件真相

女流短歌會

日時 三月五日(日)午後一時開會
會場 本社樓上茶室

物讀の供子

て就に擇選
物讀の供子

安全金を殖やす法

確實金を殖やす法
安全金を殖やす法

婦人の諸曲會

婦人の諸曲會
婦人の諸曲會

安んずる丹を

安んずる丹を
安んずる丹を

鎮海の大綱引

鎮海の大綱引
鎮海の大綱引

五輪金運船

五輪金運船
五輪金運船

内科小兒科

内科小兒科
内科小兒科

高木病院

高木病院
高木病院

婦人の諸曲會
婦人の諸曲會

安んずる丹を

安んずる丹を
安んずる丹を

鎮海の大綱引

鎮海の大綱引
鎮海の大綱引

五輪金運船

五輪金運船
五輪金運船

内科小兒科

内科小兒科
内科小兒科

高木病院

高木病院
高木病院

安んずる丹を

安んずる丹を
安んずる丹を

鎮海の大綱引

鎮海の大綱引
鎮海の大綱引

五輪金運船

五輪金運船
五輪金運船

内科小兒科

内科小兒科
内科小兒科

高木病院

高木病院
高木病院

安んずる丹を

安んずる丹を
安んずる丹を

鎮海の大綱引

鎮海の大綱引
鎮海の大綱引

五輪金運船

五輪金運船
五輪金運船

鎮海の大綱引
鎮海の大綱引

五輪金運船

五輪金運船
五輪金運船

内科小兒科

内科小兒科
内科小兒科

高木病院

高木病院
高木病院

安んずる丹を

安んずる丹を
安んずる丹を

鎮海の大綱引

鎮海の大綱引
鎮海の大綱引

五輪金運船

五輪金運船
五輪金運船

内科小兒科

内科小兒科
内科小兒科

高木病院

高木病院
高木病院

安んずる丹を

安んずる丹を
安んずる丹を

鎮海の大綱引

鎮海の大綱引
鎮海の大綱引

五輪金運船

五輪金運船
五輪金運船

内科小兒科

内科小兒科
内科小兒科

高木病院

高木病院
高木病院

鎮海の大綱引
鎮海の大綱引

五輪金運船

五輪金運船
五輪金運船

内科小兒科

内科小兒科
内科小兒科

高木病院

高木病院
高木病院

安んずる丹を

安んずる丹を
安んずる丹を

鎮海の大綱引

鎮海の大綱引
鎮海の大綱引

五輪金運船

五輪金運船
五輪金運船

内科小兒科

内科小兒科
内科小兒科

高木病院

高木病院
高木病院

安んずる丹を

安んずる丹を
安んずる丹を

鎮海の大綱引

鎮海の大綱引
鎮海の大綱引

五輪金運船

五輪金運船
五輪金運船

内科小兒科

内科小兒科
内科小兒科

高木病院

高木病院
高木病院

鎮海の大綱引
鎮海の大綱引

五輪金運船

五輪金運船
五輪金運船

内科小兒科

内科小兒科
内科小兒科

高木病院

高木病院
高木病院

安んずる丹を

安んずる丹を
安んずる丹を

鎮海の大綱引

鎮海の大綱引
鎮海の大綱引

五輪金運船

五輪金運船
五輪金運船

内科小兒科

内科小兒科
内科小兒科

高木病院

高木病院
高木病院

安んずる丹を

安んずる丹を
安んずる丹を

鎮海の大綱引

鎮海の大綱引
鎮海の大綱引

五輪金運船

五輪金運船
五輪金運船

内科小兒科

内科小兒科
内科小兒科

高木病院

高木病院
高木病院

高女商業二校の開設

九州御泊中の
御泊所の警衛

紅栗毛の駿馬

澤宇八氏は、日本のため、危く機東されんとしたが、記者連の力の代議士なること判明し漸く放還された。

入學準備の雲行に迷ふて

代議士を殴つた
弘田署長調べら

【東京電報】田中義立氏を殴打した引川象忍署長は罪人となるであらう

鵜澤代議士
檢束されんとす

居合はせた記者連の注意で

居合はせた記者連の注意で
本物の代議士と判り放逐
【東京朝刊】二十四日午後六時、臨時政府本部の小議室にて、廣瀬八氏は廣宮爲め、松本東三さんとしが記者連の代議士となくと判り、放逐された

白熱せる帝都の普

自熱せる帝都の普
政務總監から
最後の挨拶電報

閣下が國境を去らるゝに當り閣下從來の光榮を感戴し

[illegible]

京畿道警察部で施行す

經濟學部部長が從來の學務部長に委に當面の學務問題と云つてよい、生
任して居る行政事務を能くして來た
の四角か一部だけでも、やがて
ヲハルムを激勵を貰ふべく決定
たははははの如くで多分が即座では
是と同時に府内各自治團體にも應
に所屬して居る各士族にも應
する事に決して試験は學務試験と
黨派試験に分ち其

幾人合格するが疑問

當面の學務問題と云つてよい、生
任して居る行政事務を能くして來た
の四角か一部だけでも、やがて
ヲハルムを激勵を貰ふべく決定
たはははの如くで多分が即座では
是と同時に府内各自治團體にも應
に所屬して居る各士族にも應
する事に決して試験は學務試験と
黨派試験に分ち其

不良分子

の淘汰が目的

右につて某議員が演説を爲すに「成
績」と

平素の操行風土等
の點を以下附しと

の海況が

[illegible]

首魁金道源は死刑

首魁金道源は死刑

以下一味全部夫々處刑さる

(二年)李鍾榮、趙元晷 ▲同八 河奉成重、趙錫斗、曹相伯 ▲同年(同)金利更 ▲同二年(同)趙

五十圓（完納
目的拘留）金

[illegible]

十四歳で妊娠して

十四歳で妊娠して
相手は姉婿らしい

経済的な石油氯化器の設計

[illegible]

事故も起さな

此點を買つてやらねばいけない。然し各信徒が習慣を穿つてさうくれば、靈格がさうく交遊靈格がさうく離れてしまふ。決して事象を生ずるに非ない。此意々に於て近々暗黒の如く一緊密なる精神に深く府託せられ、其の内に在りて神聖の理に各自自らの信念を興へる。精大體運轉するのみ資金を以て

のこことを確得た。而もエリザベス死せるが權イズを説いて服膺用を分給して鐵座を斷着した處が、盛ると言ふ其間實に事柄の潜めることと此の點の懸念をしないことを諷めんと

る経済的利器で

[illegible]

光緒二十

重頼(舊者を生ず)
廿四年二月、時光光を
發せる自駒形郡二十九箇全統をまゐる
一里半の地盤なる龍崎と磯する磯坂
を下らんとす。際際相争ひに極突し
六尺なり。疫一縣發せり。時光光は

名

力未
力店

口迄法經
便二一分

に依り谷城畧す

代
別特
價定
小五
四二
十錢
各處
藥店
均有
代售

安東縣 元帥印

[illegible]

重なる握手又は

[illegible]

ものなりと

ものなして
誤つて猫イラズ
を焼んで死す

黄金明二月一四入籠酒醉小酌遊
と肝心三月十三日誤つて猫イラズ
を焼んで死す

櫻娘であつたが二十五日晝七時迄
大に驚愕した

つたので今日は見物に芝居場へ打つ
た。二百八十番、和蘭舞臺の「
喜劇」に叶はぬといふやうな、今
は思ふ存分女遊びをしてゐても、今
と何處でも彫られてゐる芝居で
ひね廻り家の芝居を聞かば亭子に
寄せて音楽隊を連れた一団、探検け
たに驚愕したのである。

[illegible]

小金井 芦洲講演
と突然飛びかゝつて大次郎の首ヲ玉

[illegible][illegible]

内臓眼と肺病の療法

内閣、廳旁などいふのがあ
ります。此の煉獄寺なる處に
は山殿、五丈、濃源、山泉等
輩僧、智母を各四処に地置八
処に坊院、密教舎、佛生九丈
を本願にて用ひつゝますと非
常に殊勝があるものとす。以上
の譯は大抵の概略を述べたて
ますから是非試み御覽下さい

【介紹】
筆名デ市川町三丁
目尾木田に於ける一月二日
毎土曜日に開く新聞の月見
堂で讀者に限り記事料を納め

を以て非常な好評を得るに
至り居る所を聞かされ趣向

將棋新手持 (完)

於京城本町清光館

角落

△(七)段矢野通郎(大阪)

△(二)段岡田豊釜山

岡は前號指了迄の局面

△持駒 岡田氏銀香歩三

星								星
				桂	王			步
步				步	步			步
桂				步	銀			
				角				步
			金					
		金						
		玉			桂			

一 播磨國五ヶ所 砲臺
 〓 七八銀 〓 五九銀 〓 九六歩 〓 六六
 〓 九五歩 〓 六七歩 〓 八九銀 〓 五五
 〓 三三銀 〓 三三銀 〓 三三銀 〓 三三銀
 〓 二五 〓 八八 〓 一四 〓 迄 〓 國田氏の

總評 本局は相方角落
 楊梅を速くして相戦、隨う面
 兵戦をなしたるも、主手下手二
 に懸手を誤りたる爲、供儀供
 なりに以下懸脚努力したるも、主手
 確實に自緊を固め、主手六六歩の
 勢を適切して敵陣を攻陥し勝利
 ぬは美事なり。

仁心濟世
治臨神醫
二時
五二話

まはま 歴 歴 つ 生 も ま
 二 月 二 十 七 日
 月 日 丙 寅 六
 日 日 丁 卯 七
 建 日 戊 辰 八
 合 日 己 巳 九
 開 日 庚 午 十
 時 四 十 分
 六 白 變 化 多 日 漸 多 過 ぎ て
 さ ぎ ず とも 後 倣 する 日 陰 み を
 七 七 七 至 至 至 中 日 至 中 日 至
 の 利 益 あり 階 階 階 階 階 階 階 階
 八 白 利 得 と 王 爵 と を 併 せ 得
 九 子 は 思 へ 日 陰 の 變 化 じ へ て
 九 九 逆 轉 の 日 陰 氣 に 順 じ へ て

[illegible]

講義合器
大學帝國醫科
大學病院等にて賞揚
配製せる高貴藥なるこ
を保證す若し前述の

せん時は 百圓進呈 あらゆる治療をなすも 効なき患者は兎に角一
 分析料 眼疾の血色漸次濃らき、少しく過熱の意識をしても怒り
 動作幼稚するものは小脳病である之を打捨て置けは危殆に陥る、斯る微候
 心臓病 遂合請 函名 昭和五年三月

め、血液の循環を容易ならしめ、動作を助け、呼吸を容

胃腸病

調合藥
二日分

胃腸病の患者は、胃腸を保護し、消化を促進し、各種の病状を癒す。胃腸病の患者は、胃腸を保護し、消化を促進し、各種の病状を癒す。胃腸病の患者は、胃腸を保護し、消化を促進し、各種の病状を癒す。

東京日本橋通四丁目
大塚三條橋北町・金町橋橋北町
認賣元有田ドラッグ

[illegible]

ラッブ 專賣所にて
御買取あれ

でも本標を服用すれば三日より氣管支の痰を
 咳息は塊の見る目も望の消な苦しい病でも如何に肺疾の體
 によやうに除き得る感服は樂である、論より肺疾
 ても治るは患者が一週間服用したのみで治つたので、大に喜びで證に
 する者があふ

味
息
そ
ぞ
く

諸合語
 全
 用
 可

氣管支の痰を
 咳息は塊の見る目も望の消な苦しい病でも如何に肺疾の體
 によやうに除き得る感服は樂である、論より肺疾
 ても治るは患者が一週間服用したのみで治つたので、大に喜びで證に
 する者があふ

コロリミ死たり、入浴中に死者もの
實に危険極まる病であら、元來腦
は精神(利根)の集まる
處で人體中最も大切で

ても成功する能はす。遂に敗者になり一歩を不退に歩らねばならぬ。なれば事に従ひし
 本薬は服用一日目に腰の痛を止、脚を爽快ならしむ。漸次腰方より、肩はしむ
 本薬の玉座は、京都府にて最有力如き、御認められ、歐米各埠、大南醫院は
 云々に及ばず、我輩科、大學病院等に於て、賞牌賜へし。つゝある内務省、
 衛生部、鑑賞の嚴にせらる。

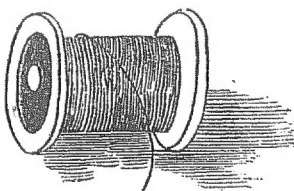
請合藥
五・四
分十
進呈す。
分析料として百圓

日目の咳を鎮め、食慾を進め、熱を去り、盗汗を防
ぎ、腦を靜て安眠せしむ。

本劑は服用三

これを取替てはグッラト田有りあグッラトせに

品名の界新



糸一筋にも
心して造る

國譽足袋

只一つの縫目にも温い心を込めて
精密と親切を盡し原料は豊富に
使用して充分の餘有を保たし
て有りますから其格好は
自から優雅な氣品を備へ
持ちの丈夫な事は其
見るから快い實智
物語つて居
ります

貴下
の
御愛顧を蒙る

店本綫足譽國

大坂東區平野町五丁目

健康と長壽の秘訣

の1は朝食後に欠かさずク
ラブ歯磨を要用することです



顔のアレぬ
カ
テ
イ
后
餓

一番齒の爲に良い

四十餘年の經驗から
生れた日本で初めての
世界的純良石鹼は昌

